

師範会委員会の報告会議事録

作成:永盛

日時 平成27年9月12(土) 13時～
場所 (公社)日本空手協会 総本部 会議室
参加者 大津 直之介 川上 弘紀 永盛 茂

会議に先立ち杉浦先生を偲び全員で黙とう。

報告内容 1) 杉浦先生を偲ぶ会の件

- ・8月10日に死去、本葬は協会側より亜細亜大学OB&協会幹部のみ執り行いました。
偲ぶ会は10月18日(日)午後1時より法要(総本部4階)
偲ぶ会は2時よりベルサール 案内状の通りです。

2) 試合規約の件

- ・少年大会の組手試合で相手を倒して蹴り技をすれば失格でしたが、反則注意に変更する。(2016/4/1施行)
- ・高校生組手試合は一般大会に準ずる、倒して蹴技を使ってもよい。(2016/4/1施行)
- ・昇段審査で弐段以上の組手(特に女子)自由組手より基本一本組手に奔る傾向がある為にもう一度見直しをしたい、師範会幹事会に一任して頂きたい。(全員承認)
- ・平安四段の呼び方(平安ヨンダン)で統一……選手に聞き取りにくい為。

3) 称号の件

- ・錬士 五段以上 50歳以上……5万円 (人選して県本部へ通達する)
- ・教士 七段以上 60歳以上……10万円 (師範会から)
- ・範士 八段以上 65歳以上……10万円
贈呈品は賞状と黒帯。
(本部指導員の資格は一般と別枠にする。)

4) その他

- ・来年度の少年大会は今までの開催県(静岡県・宮城県・長野県・三重県・福岡県)で予約が取れない為に岩手県になりますが、12コートになります。2コート少なくなりますけどどの様な進行をしたら良いか。
 - 案)二日間で完了するのでは団体戦の数を減らす。
 - 案)二日間で完了するのでは時間を長くする。
 - 案)二日と半日追加する。
 - 案)一日目を二か所の体育館を使って予選を、二日目一か所で本戦を行う。
- いろんな案がありますが、条件が揃えば開催出来そうか県があれば連絡して下さい。

- ・会議終了後首席師範の稽古会を実施しました。